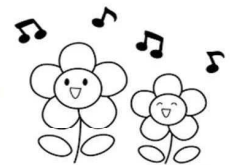




皆様こんにちは。私は今年度から、家庭教育活動を行う体制づくりを推進する「地域教育コーディネーター」として活動していく事になりました、清田智子と申します。住所は泗水町高江です。この通信の発行（年4回程度）、教育相談、親の学びのプログラムの企画などを行ってまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



6歳までは苦手意識がないという事実

個人差はありますが、おおむね6歳までの子どもには苦手意識がなく「自分はなんでもできる」と思っています。逆に言えば、6歳からは苦手意識が出てくるので、それまでの経験が、重要になってきます。そこで、家庭では、
① 「下手ね」「だめね」「なにやっているの」といった否定的な言葉をかけない。
② 運動、読書、手先を使った遊び、多くの人と関わること、話すことなど、なるべく様々な事を、経験させておく。
③ 「できた!」「おもしろい!」「楽しい!」といった感動体験につきあう。子どもが、感動してもうまく言葉が出ない時は、感動を言葉にしてあげる。といった事に気をつけてあげて下さい。ちなみに、感動体験は、毎日の生活の中にたくさんあります。子どもと一緒に見つけてみましょう♪



みそ汁、飲んでいますか？

「みそ汁は朝の毒消し」という言葉があります。みそ汁が苦手だった私に祖母がいつもこの言葉を言っていました。「だから食べんといかんとよ」と。

今、和食が見直されていますが、特にみそ汁はいいことがいっぱいです。体が温まり、腸内環境が改善され、栄養バランスが良く、集中力も高まるので、成績も良くなると言われていますね。

日本のスーパーフード「みそ汁」を食べ、子どもたちへ伝えていくのも大人の役目かなと思っています。

コーディネーターが教育相談をお受けします。

- ① 相談したい方は、生涯学習課にお電話を下さい。その時、相談者様の連絡先を、職員にお伝え下さい。
- ② その後、コーディネーターから相談者様に、お電話をして、相談の日時の調整を致します。
- ③ 市役所の相談室でお話を伺います。
どうぞお気軽にご利用ください。

地域教育コーディネーター

清田智子

生涯学習課

25-7232